ドイツ・フランスの介護保険の認定について

日本の介護保険はドイツの介護保険を参考にして作られている。ドイツでは社会保障制度を担う 5 番目※の柱として、1995 年にスタートしている。(※医療保険・年金保険・失業保険・労災保険・介護保険) ――日本は 2000 年施行（1997/12/制定）

ドイツの制度

ドイツは社会保険の国・カッセ（金庫）が国民に身近な存在

国は全ての国民が、職域保険、地域保健等のどれか 1 つ以上の保険に入るように指導

金庫同士が、保険組合の加入者となってもらえるよう、特徴を出して競争している。

医療施設（病院など）が、サービスの内容や質・設備の競争をして

各社会保険組合にアピールする

1・大きな違い（ドイツと日本の制度は似ているが、大きな違いが家族介護の扱い）

現金給付が家族に対して行い、家族介護を評価し、家族への現金給付がある

日本は、介護保険は「介護の社会化」目的→家族を介護から解放し社会復帰のため。

家族労働に現金給付をすると、女性を介護労働に縛るのではとして、導入しなかった。

ドイツでは介護保険の有無にかかわらず、家族介護は一定の割合で存在すると認めた上で、この部分を評価する事が重要→ドイツでは家族介護は労働として扱う

退院時、急変事は 10 日間の有給あり、

年金、失業保険、労災保険などの保険料に補助が出る。

介護サービスと金銭給付をミックスさせて制度に取り込んでいる形。

2．要介護度調査　（ドイツは年齢要件が無く、障碍者介護もこの制度で進める。）

2017 年までは 3 段階だったが、それをほぼ日本と同じに変えている。

要介護度判定は独立の第三者機関 MDK に委託し、その社会保険医師が単独で訪問調査

フランスの制度

1．サクセスフル・エイジングの三つの要素

1．健康で体に不自由がない、2．身体的・認知的能力の維持、

3． 積極的な社会参加

- **質の高い長期介護制 ＋健康な高齢者の社会的統合と活動推進**

1．2003 年：1 万 5000 人の命を奪った猛暑

→犠牲者の多くが 独居高齢者で、新政策の導入

緊急対策の策定 サービス間の連携強化、アラートシステム整備、緊急 サービスの再編、サービス利用のない独居高齢者の特定。 この対策では、猛暑や寒波の
ほか、テロ攻撃、鳥イン フルエンザ等々の緊急事態への対応を目的

２・この前にフランスの社会保障制度の全体改革（RMI）が発足（1988 年）していた
連帯というキーワードで、福祉の全分野の改革に連動して進められる。

２．介護の費用の財源について、制度を作って行った

2000 年　個別化自立手当（APA）創設：介護利用する国民の経済面を重視

フランスの介護利用料への制度：APA の支給要件

当該者の要介護度、収入（動・不動財産を含む）によって、また在宅か施設入居かで異なり、全国同条件。収入により、自己負担額が異なりますが、収入が 6000 フラン以下であ れば、自己負担はなし。1 フランは 122.33 円×6000＝733980（月額収入￥61165 以下）

要介護者施設入居者への支給額は、その収入、要介護度によらず、常に在宅者よりも低く設定してあります。これら、社会医療施設には既に要介護者への社会保障が確立され、介護の為の出費は発生しないよう位置付けられているからです。

当該者の同意のもとに、滞在施設に、直接支払われる APA の手当ては、入居者の収入によってのみではなく、要介護者への毎日の生活上、提供されるサービスの種類によって「介護料金」 が支払われます。しかし、アメニティ代金（自己負担または社会福祉手当）とケア（疾病保険負担）とは、別途支払うことになります。

3. 要介護度判定

高齢化のイメージ払拭と世代間関係の構築支援ーー若い親と子ども、障害のある高齢者、健康な退職者がともに暮らす施設や共通サービスの提供 などで世代間を緊密に・2007 年 3 月に政府は高齢者虐待の対策に 500 万ユーロの 予算を計上

フランスの AGGIR の判定項目（要介護度繁栄 6 項目）
要支援、要介護 1・2 を介護保険から外してゆく動きの中で、認定審査方法に一つのバリエーションともとれるのが、チェックリストです。

介護保険創設時の精神を思い起こし、団塊の世代の要介護者増を見込んで作られた介護保

険は、今どう改正改変されるのか、それでどうなるのか、いろいろ考える参考です。

表4 基本チェックリスト

No.	質問項目	回答（いずれかに○をお付け下さい）		
1	バスや電車で1人で外出していますか	0.はい	1.いいえ	
2	日用品の買い物をしていますか	0.はい	1.いいえ	
3	預貯金の出し入れをしていますか	0.はい	1.いいえ	
4	友人の家を訪ねていますか	0.はい	1.いいえ	
5	家族や友人の相談にのっていますか	0.はい	1.いいえ	
6	階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか	0.はい	1.いいえ	運動
7	椅子に座った状態から何もつかまらずにたちあがっていますか	0.はい	1.いいえ	
8	15 分くらい続けて歩いていますか	0.はい	1.いいえ	
9	この 1 年間に転んだことがありますか	1.はい	0.いいえ	
10	転倒に対する不安は大きいですか	1.はい	0.いいえ	
11	6 ヵ月間で 2～3kg 以上の体重減少がありましたか	1.はい	0.いいえ	栄養
12	身長　　cm　　体重　　kg(BMI=　　)(注)			
13	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1.はい	0.いいえ	口腔
14	お茶や汁物等でむせることがありますか	1.はい	0.いいえ	
15	口の渇きが気になりますか	1.はい	0.いいえ	
16	週に1回以上は外出していますか	0.はい	1.いいえ	閉じこもり
17	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1.はい	0.いいえ	
18	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるといわれますか	1.はい	0.いいえ	認　知
19	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	0.はい	1.いいえ	
20	今日が何月何日かわからない時がありますか	1 はい	0.いいえ	
21	(ここ2週間)毎日の生活に充実感がない	1.はい	0.いいえ	うつ
22	(ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1.はい	0.いいえ	
23	(ここ2週間)以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる	1.はい	0.いいえ	
24	(ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えない	1.はい	0.いいえ	
25	(ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする	1.はい	0.いいえ	

(注)BMI(=体重(kg) ÷ 身長(m) ÷ 身長(m))が 18.5 未満の場合に該当とする。